環境経営レポート

50期 2023年8月~2024年7月



村上產業株式会社

エコアクション21全組織・全活動を対象

作成日 2024年9月30日



環境経営方針

【環境理念】

私たちは、環境に負荷の少ない豊かな町づくりに貢献し「未来の環境を考えて」を スローガンとした、全社員の創意による環境保全への取組を

経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、良好な地域環境を築き環境にやさしい社会を目指して事業活動のあらゆる面で、

環境との共存共栄を図りながら継続的改善に努めていきます。

【環境経営方針】

当社は「未来の環境を考えて」をスローガンに、地域社会と密接な連携を保ちながら 環境活動を次の通り推進する。

- 1. 環境に係わる法規、その他要求事項を遵守します。
- 2. 環境目的及び環境目標を設定し、定期的に見直しを行います。
- 3. 収集運搬時の環境負荷の低減を行い汚染防止に努めます。
- 4. 従業員の教育を行い、環境保全に対する理解と意識の向上を図り、従業員全員の責務と認識させ事業活動を実施します。
- 5. 産業廃棄物のリサイクルを通し、地域に貢献する企業として、行政・近隣住民との コミュニケーションを図り、地域の環境活動に積極的に参画します。
- 6. この環境方針は、当社の全社員に周知し、一般にも公開します。



村 上 産 業 株 式 会 社 代表取締役 村 上 康 隆

2005年10月1日 作成 2014年 8月1日 改訂 2021年 8月1日 改訂

《事業概要》

事業者名及び代表者名

村 上 産業 株式 会社 昭和50年6月24日 設立

代表取締役 村上康隆

所在地 〒371-0016 群馬県前橋市城東町4-23-2

トラックヤード 〒379-2153 群馬県前橋市上大島町976

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 村上康隆

担 当 者 環境管理事務局 鈴 木 千恵子

連 絡 先 TELO27-231-9224

e-mail: gunsei@lapis.plala.or.jp

事業の内容

☆ 産業廃棄物収集運搬業

☆ 一般廃棄物収集運搬業

事業の規模

資本金 1000万円

売上高 5.5億

事業年度 毎年8月~7月

従業員数 9人

就業時間 8:00~17:00 年間稼動日数 290日(交代勤務)

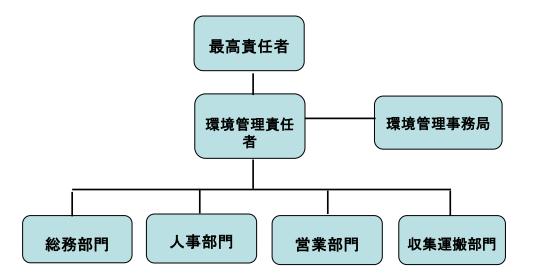
事業所延床面積 140 m²

受託費用 別途見積による

車両

※エコアクション21の対象範囲は全てです

《環境経営システムの運用組織》



【最高責任者】 環境経営に関する基本理念・基本方針の制定と環境目標の設定

環境管理をはじめ、必要な責任者の任命

環境経営システム構築及び運用に関する情報収集

システム全体の見直し及び改訂の指示

【環境管理責任者】 環境目標及び環境活動計画の策定

環境関連法規等の取りまとめ 環境取組状況の確認・評価

【環境管理事務局】 環境関連文書の作成・整理

環境活動計画の進捗状況の取りまとめ

環境レポートの作成

【総務部門】 環境コミュニケーション

環境問題に関する情報の伝達

エコドライブ等の指導

【人事部門】 環境教育訓練の実施

社外からの環境に関する苦情・要望を記録

社内の環境関連の改善・提案

廃棄物等の数値のまとめ

【営業部門】 環境行動計画の推進

お客さまへ廃棄物の再生利用を提案

【収集運搬部門】 環境行動計画の推進

車両整備

産業廃棄物の安全な収集と運搬

エコドライブの実施

産業廃棄物収集運搬業許可証 《許可の概要》

01000021434 群馬県

優良 許可年月日

2021 令和3年1月16日

有効期限

2028 令和10年1月15日

燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類(*)、紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず

金属くず(○)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*・○)、がれき類(*)

01104021434 埼玉県

優良)許可年月日

2021 令和3年6月23日

有効期限

2028 令和10年4月30日

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類(*・○)、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(○)、

ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(*・〇)、がれき類(*)、ばいじん

栃木県 00900021434 **優良**)許可年月日

2021 令和3年12月14日

有効期限

2028 令和10年12月13日

汚泥、廃油、廃プラスチック類(*)、紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、

金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*、)がれき類(*)

00801021434 茨城県

優良) 許可年月日

2021 令和3年9月27日

有効期限

2028 令和10年6月5日

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類(*)、木くず、動植物性残さ、金属くず、がれき類(*)

第13-00-021434(優良)許可年月日 東京都

2021 令和3年9月1日

有効期限

2028 令和10年8月31日

燃え殻、汚泥、動植物性残さ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず(*)

2009021434 長野県

優良)許可年月日

2021 令和3年8月2日

有効期限

2028 令和10年8月1日

汚泥(〇)、廃プラスチック類($* \cdot O$)、動植物性残さ(植物性残さに限る。)金属くず(O)、

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*・○)、がれき類(*)、家畜のふん尿

前橋市

第68号

有効期限

令和8年3月31日

ごみ又は特定家庭用機器再商品化法に定める特定家庭用機器で廃棄物となったものに限る。

伊勢崎市 第15号

有効期限

令和8年3月31日

事業系一般廃棄物(可燃・不燃ごみ)

第1404U004-1号 寄居町

有効期限

令和8年3月31日

一般廃棄物 事業系ごみの資源ごみ (紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ)

∞ 産業廃棄物の種類に(*)表示のある場合は石綿含有産業廃棄物を含む ∞

∞ 産業廃棄物の種類に(○)表示のある場合は水銀使用製品産業廃棄物を含む ∞

《環境への負荷の推移》

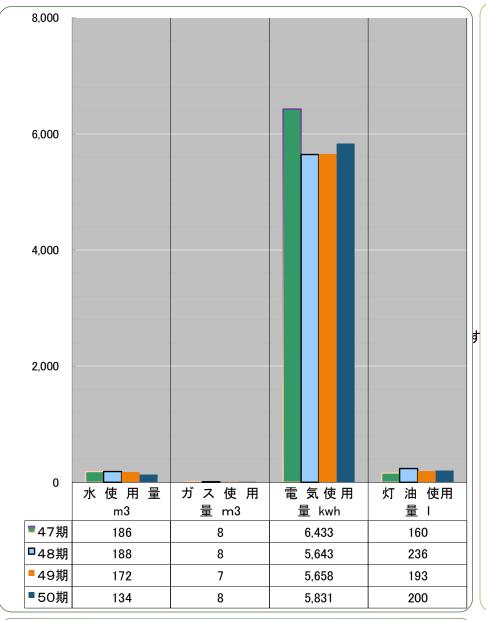
《自社から排出した廃棄物量・光熱費等 環境負荷量》

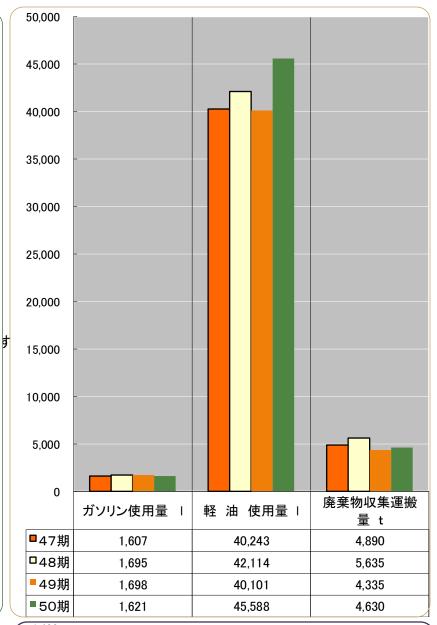
| 77 0 | *** 1.1 | 47期 | 48期 | 49期 | 50期 |
|---------------|---------|-------------------|-------------------|----------------------|-------------------|
| 項目 | 単位 | 2020年8月 ~ 2021年7月 | 2021年8月 ~ 2022年7月 | 2022年8月 ~ 2023年7月 | 2023年8月 ~ 2024年7月 |
| 水使用量 m | 13 | 186 | 188 | 172 | 134 |
| ガ ス 使用量 r | m3 | 8 | 8 | 7 | 8 |
| 電 気 使用量 kwh | | 6,433 | 5,643 | 5,658 | 5,831 |
| 灯 油 使用量 | | 160 | 236 | 193 | 200 |
| ガソリン使用量 | ガソリン使用量 | | 1,695 | 1,698 | 1,621 |
| 軽 油 使用量 | 1 | 40,243 | 42,114 | 40,101 | 45,588 |
| 一般廃棄物排出量 kg | | 76 | 89 | 1,185 | 47 |
| 廃棄物収集運搬量 t | | 4,890 | 5,635 | 4,335 | 4,630 |
| CO2排出量 kg-CO2 | | 112,949 | 117,859 | 112,482 | 124,785 |

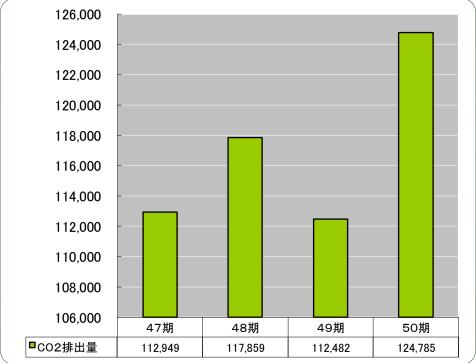
- * 廃棄物は容積(㎡)で収集しているものもあるので、容積(㎡)を重量(t)に換算して表示した。
- * 購入電力(**東京電力**)二酸化炭素の排出係数は0.496 kg-CO2/kwhで表示した。

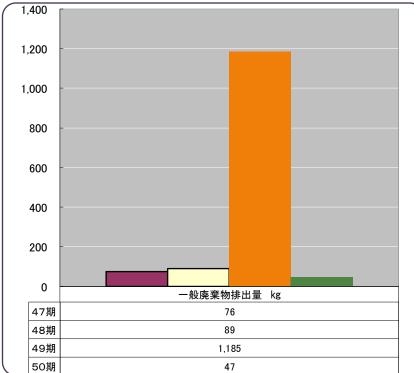
《自社からのCO2排出量》

| u - | エネルギー | | 47期 | 48期 | 49期 | 50期 |
|------------------|----------------|---------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| エイルー | r | 単位 | 2020年8月 ~ 2021年7月 | 2021年8月 ~ 2022年7月 | 2022年8月 ~ 2023年7月 | 2023年8月 ~ 2024年7月 |
| | 灯 油 | kg-CO2 | 399 | 588 | 481 | 498 |
| <i>አ</i> ለ ተተ | 燃料 ガス | | 17 | 17 | 15 | 17 |
| 購入電 | 購入電力 | | 3,191 | 2,799 | 2,806 | 2892 |
| 自動車燃料 | ガソリン | kg-CO2 | 3,732 | 3,934 | 3,941 | 3761 |
| 口到平然竹 | 軽油 | kg-CO2 | 105,611 | 110,520 | 105,238 | 117617 |
| CO2排出量(自動車を含む)合計 | | 112,950 | 117,858 | 112,481 | 124785 | |









《環境負荷低減目標》

〇 二酸化炭素排出量及排出量

| 項目 | 単位 | 45期(基準年) | 50期 | 結果 | 51期 | 52期 |
|----------------|----------|----------|------|----|------|------|
| CO2排出量(自動車用含む) | kg-CO2/t | 32.8 | 27.4 | 達成 | 30.8 | 30.5 |
| 軽油使用量 | l / t | 12 | 9.8 | 達成 | 10.9 | 10.8 |

CO2排出量·軽油使用量単位:産業廃棄物収集運搬量1t当たり

〇水 使 用 量

| 項目 | 単 位 | 45期(基準年) | 50期 結果 | 結果 | 51期 | 52期 |
|------|-----|----------|-----------|----|-----|-----|
| 水使用量 | ㎡/年 | 252 | 134 | 達成 | 252 | 252 |

〇 一般廃棄物排出削減

| 項目 | 単位 | 45期(基準年) | 50期 結果 | 結果 | 51期 | 52期 |
|-------|------|----------|-----------|----|------|------|
| 一般廃棄物 | kg/年 | 77 | 28 | 達成 | 77.0 | 77.0 |

〇 産業廃棄物再生利用率維持

| 項目 | 単 位 | 45期(基準年) | 50期 結果 | 結果 | 51期 | 52期 |
|-----------------|-----------|----------|-----------|----|-----|-----|
| | 再生利用 t/年 | 3,085 | 4,594 | - | - | - |
| 産業廃棄物 再生利用 率 | 収集運搬量 t/年 | 3,494 | 4,630 | 1 | - | 1 |
| | 再生利用率 % | 88% | 99% | 達成 | - | - |

《環境活動低減結果》

○45期実績に対して50期は5%の削減・5ポイント向上を目指す項目

※CO2の排出係数は0.496kg-CO2/kwh

| 目標項目 | 単 位 | 45期 | 50期 | 50期 |
|-----------------------|----------------|-------|-------|-------|
| 口你快口 | 工 四 | 実績 | 実績 | 目標 |
| CO2排出量 二酸化炭素÷収集運搬量 | kg-CO2/t | 32.8 | 27.4 | 31.2 |
| 軽油使用量 | l / t | 12.0 | 9.8 | 11.0 |
| 水使用量の削減 | ㎡ / 年 | 252.0 | 134.0 | 維持 |
| 一般廃棄物の削減 | kg / 年 | 77.0 | 28.0 | 維持 |
| 産業廃棄物 再生利用率 | % | 88% | 98% | 90%以上 |





《受託した産業廃棄物収集運搬量》

産業廃棄物収集運搬量

| | 単 | 位 | 49期 | 50期 |
|-----------------------|-----|-----|-----------------|-----------------|
| 从来的 特征的 | + | 124 | 2022年8月~2023年7月 | 2023年8月~2024年7月 |
| 紙 く ず | t / | 年 | 9 | 51 |
| 金属くず | t / | 年 | 93 | 89 |
| 廃プラスチック類 | t / | 年 | 2,956 | 3,275 |
| 汚 泥 | t / | 年 | 334 | 313 |
| ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず | t / | 年 | 8 | 17 |
| 木くず | t / | 年 | 686 | 752 |
| ゴムくず | t / | 年 | 15 | 14 |
| が れ き 類 | t / | 年 | 92 | 20 |
| 動植物性残さ | t / | 年 | 37 | 50 |
| 燃 え 殻 | t / | 年 | 24 | 8 |
| 廃 油 | t / | 年 | 7 | 6 |
| 石綿含有産業廃棄物 | t / | 年 | 37 | 0 |
| 収集運搬量合計 | t / | 年 | 4,299 | 4,594 |

産業廃棄物再生利用量(収集運搬中再生利用処分業者に運搬した量)

| 廃棄物等種別 | 単 位 | 49期 | 50期 |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 紙 く ず | t / 年 | 9 | 51 |
| 金属くず | t / 年 | 93 | 89 |
| 廃プラスチック類 | t / 年 | 2,928 | 3,248 |
| 汚泥 | t / 年 | 334 | 313 |
| ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず | t / 年 | 5 | 15 |
| 木くず | t / 年 | 686 | 752 |
| ゴムくず | t / 年 | 0 | 1 |
| が れ き 類 | t / 年 | 0 | 6 |
| 動植物性残さ | t / 年 | 37 | 50 |
| 燃 え 殻 | t / 年 | 24 | 8 |
| 廃 油 | t / 年 | 7 | 6 |
| 石綿含有産業廃棄物 | t / 年 | 0 | 0 |
| 廃棄物再資源化合計 | t / 年 | 4,124 | 4,538 |
| 再生利用率 | | 96% | 99% |

| 廃棄物等種別 | 単 位 | 49期 | 50期 |
|--------|-------|-----|-------|
| 一般廃棄物 | t / 年 | 36 | 36.57 |

《環境保全に向けた具体的な取組と評価》

| | 具体的な取組 | 評価 |
|----------------|------------------------------|--|
| • (| 二酸化炭素削減 | |
| _ | 社用車の効率的な運転の推進 削減ルール作り | 今期、CO2排出量が増加した。 |
| 2 | アイドリングをせず、アクセルむらのない運転の推進 | 収集運搬量の増加により軽油使用量が増加した。 |
| | (ドライブレコーダーの装着) | 効率のよい配車計画、ドライブレコーダーの |
| 3 | 屋休みの照明消灯 ・待機電力の削減(LEDへの移行) | 装着も行っての結果のため、今後も維持 |
| _ | 空調の目安温度を設ける(夏は28度、冬は20度) | していけるよう試行錯誤しながら続けて行きたい。 |
| _ | 車両ごとの燃費消費率の把握 | グリーンカーテンは暑すぎて |
| _ | 冬季以外の給湯使用の停止 | 植物が育たない。 |
| - - | グリーンカーテンの栽培 生命の取得 | |
| 火 | 年度の取組 ・数量把握 | |
| • | 水有効利用の推進 | |
| 1 | 水有効利用 水節約のための貼紙による啓発 | 水の有効利用が継続されている。 |
| _ | 定期的な漏水チェック 三ヶ月に一度メーター目視により確認 | がなる 日 2874 371372 単型 486 C 4 0 C 0 0 0 0 |
| | 度の取組 | 1 |
| | ・節水意識の継続 | |
| ♦ | 一般廃棄物排出削減 • 紙使用量削減 | |
| 1 | PDFの使用 | PDFの使用が増加した。 |
| 2 | 裏面コピーの推進 | そのため、裏紙の確保が難しくなった。 |
| 3 | 再生紙の利用 | |
| 4 | 分別排出の徹底 | |
| 次年 | 度の取組 | |
| | ·現状維持 · | |
| ♦ | 産業廃棄物再生利用率向上 | 再生利用率は前期に続き90%台 |
| 1 | 処理施設の現地確認 | を達成出来た。 |
| 2 | 金属類の分別による資源化 | 一 |
| 3 | 廃プラスチックの高炉原料化 | 適切な処理方法を、処理先を提案 |
| 4 | 再利用の提案活動(排出元への情報提供) | する事を心掛ける。 |
| <u>.</u> | 有価物としての売却の推進 | y の事で心斑いる。 |
| | 度の取組 | |
| 火牛 | -J支♥/収礼 | |

・再生利用率向上のため、産業廃棄物の適正処理と処理先の提案をする。



環境関連法規制の遵守

関係法令

| 関係法令 | | | | | | |
|-------------------|------------------|--------------|----------------------------|-------------------------|--|--|
| 環境側面 | 内容·適用条件 | 適用法令 | 要求事項 | į | | |
| | 自動車の運転 | 大気汚染防止法 | 自動車排出ガスの排出抑制に努める | | | |
| | 緊急時の措置 | 人风为朱彻止法 | 自動車の運転の自主的制限 | | | |
| 車両からの排気 | ディーゼル車の排出ガス | 自動車NOX•PM法 | 自動車からの窒素酸化物及び粒子状物 | 物質の抑制 | | |
| ガスの排出 | | 道路運送車両法 | 車両の構造上の安全 | 登 録 | | |
| | 車の所有登録 | 道 路 法 | 道路の保全 | 点 検 | | |
| | | 道路交通法 | 人と車の安全 | 整備 | | |
| | | | 車輌の表示義務 | | | |
| | 廃棄物の収集運搬 | | 許可証の携帯 | | | |
| | | | 携帯端末による運搬確認 | | | |
| | マニフェスト伝票の管理 | | マニフェスト伝票の管理 | | | |
| 廃棄物の | 電子マニフェストの管理 | 廃棄物処理法 | (記載もれのチェック・B2票90日以内の返却の確認) | | | |
| 収集運搬 | | | 電子マニフェスト伝票の管理 | | | |
| | 収集運搬業許可 | | 5年毎の許可更新(優良評価申請) | | | |
| | 実績報告 | | 実績報告の提出 | | | |
| | | | (毎年3月末までの実績を6月末までに提出) | | | |
| | 排出業者との委託契約 | | 収集運搬委託契約書の作成・管理 | | | |
| | | 家電リサイクル法 | 小売業者への適切な引渡し・リサイクル費用の負担 | | | |
| 生田文2.45 日の | | 自動車リサイクル法 | 小売業者への適切な引渡し・リサイクル | 小売業者への適切な引渡し・リサイクル費用の負担 | | |
| 使用済み物品の リサイクル | マニフェスト伝票の管理 | | 使用済物品の再生資源化(原材料として利用) | | | |
| 77 1772 | | 資源有効利用促進法 | 再生部品化(部品その他製品の一部として利用) | | | |
| | | | 再資源化(有用なものを全部・一部 | を再生部品として利用) | | |
| 業務エアコンの | 7.5kwh以下の定期点検不要 | フロン排出抑制法 | 廃棄時は適正管理専門業者へ依頼 | Į | | |
| 管理 | 7.5KWII从下切足别点快个安 | ノロンが田が明点 | エアコン簡易点検 | | | |
| 水銀使用製品産業廃棄物の適正処理 | | 廃棄物処理法 | 水銀使用製品産業廃棄物の収集運搬(許可証への追記) | | | |
| | | | 1 | | | |

群馬県の生活環境を保全する条例

| 要 求 事 項 |
|---------------------------------|
| 法律・条例の遵守 |
| 温室効果ガスが排出されるのを抑制するための必要な措置 |
| 酸性雨の原因となる物質の排出されるのを抑制するための必要な措置 |
| フロンの排出の規制 |
| フロンの適切な処理 |
| 停車時のエンジン停止 |
| 自動車の効率的な使用 |
| 低公害車等の購入推進 |
| グリーン購入の推進 |
| ポイ捨て禁止 |
| |

労働安全衛生法

| | 内 容 | 該 当 業 務 |
|---------|---------------|-----------------|
| 技能講習 | フォークリフト運転技能講習 | 収集先でのフォークリフトの運転 |
| | 玉掛技能講習 | 収集先での移動式クレーンの作業 |
| 社員の健康維持 | | 全社員の健康診断の実施 |

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は次の通りである

(2024年8月現在)

| 内 容 | 結 果 |
|---------|-----|
| 法律違反の有無 | 無 |
| 訴訟の有無 | 無 |

環境関係法規への違反・指摘は過去3年間ありません。

全体の評価と見直しの結果 代表者によるコメント

この一年を評価するならば、当社の社員は素晴らしい!その一言です。 長年エコアクションの活動に取り組んでいるため、数値では際立った変化は 見られないですが、SDGSの持続可能な活動を実践しています。 ドライバーをはじめ事務員とともに常にお客様の声に耳を傾け、 迅速かつ丁寧な対応を心掛けることで、お客様から信頼を得ていると 感じております。

今後、当社が取組む課題として、社会に貢献するボランティア活動を 提案していこうと思います。

今後も引続き、社員が環境とエネルギーに関わる業務の活動を通じて、 地球全体の環境負荷低減に貢献していくことを期待します。

代表取締役 村上康隆



6